

国民年金制度を ご存知ですか？



11月は「国民年金制度推進月間」です

日本国内に住所のある20歳から60歳までのほとんどすべての人が、国民年金に加入しています。老齡、障害、死亡によって生活の安定が脅かされたとき、みんなで貯めた保険料をもとに各種の基礎年金が支払われます。

国民年金について考えたことがありますか？

少子・高齢社会が到来し、国民年金についても一層安定した制度が求められるようになりました。21世紀に向け、みんなの納得できる制度を実現するためには、ひとりひとりが国民年金について理解し、身近な問題として考えていく必要があります。

11月は「国民年金制度推進月間」。国民年金について理解を深め、制度の「現在」そして「これから」を、みんなで考えましょう。

『明日のあなたをを考えて…年金はあなたが主人公です。』



世代間の橋渡し、
みんなで考えましょう



国民年金保険料を納めなかつたら……

国民年金保険料の未納（国民年金保険料を納めないこと）は、「みんなの助け合い」で成り立つ国民年金制度を根幹から揺るがすことになり、同時に、その人の将来にも次のような影響を及ぼします。

- ①事故や病気で障害が残った場合でも、障害基礎年金が受けられないことがあります。
- ②18歳未満の子供と妻を残して亡くなられた場合でも、遺族基礎年金が受けられないことがあります。
- ③将来受ける老齡基礎年金が減額され、場合によっては全く支給されないことがあります。

<参考> 老齡基礎年金の計算式

$$804,200 \text{ (円)} \times \frac{[\text{保険料を納めた期間}] + [\text{保険料免除期間} \times \frac{1}{3}]}{40 \text{ 年 (加入可能年数)}}$$

- ・老齡基礎年金を受けるためには最低でも25年、保険料を納めなくてはなりません。
- ・20歳から60歳までの40年間、しっかり保険料を納めることによって、満額の老齡基礎年金が支給されます。もし、40年に満たない場合は、満たない期間に応じて年金額が減額になります。

自分のため、家族のため、そして世代を越えたみんなのために、国民年金保険料はしっかり納めましょう。

消防 だより

十一月九日は119番の日

住民生活のより一層の安全確保を図るため、昭和六十二年から毎年十一月九日は「119番の日」と定められています。

いざ、というときに備え、電話機に119番通報マニュアル等を貼っておくなど、普段から落ち着いて通報できるように、心がけておきましょう。

119番のかけ方マニュアル
1、正しくダイヤルを回す。又はプッシュする。

2、何が起きたか？（火災・救急の区別をする）

例「火災です」「救急です」
3、場所はどこか？

住所を正確に伝える。例「〇〇丁目の〇〇番地です。」
住所が分からないとき。例「〇〇交差点の北側の角です。」

4、状況はどうか？（具体的に「はつきり」と）
何が燃えているのか？ 例「家が燃えています。」

どんな事故か。負傷者の数は？ 傷病者の容態は？
例「乗用車同士の事故でケガ人が二人います。」

5、あなた（通報者）の名前と今かけている電話番号を知らせて下さい。



秋季火災予防運動！

標語

「あぶないよ
ひとりぼっちにした
その火」

「十一月九日（火）～十一月十五日（月）」まで全国一斉に秋季火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、住民一人ひとりの火災予防思想の一層の普及を図り、火災による死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的としています。

防火意識の高揚を図るため、運動期間中、午前十二時～午後五時にサイレンを吹鳴します。

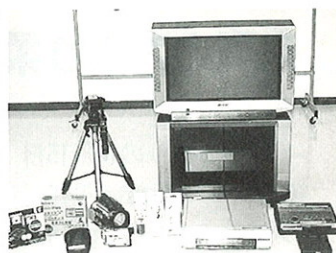
また、消防訓練、防火指導、防火パレード等、地域に密着した防火行事を予定していますのでみなさんの積極的な参加をお願いします。

自主防災組織育成助成事業

内灘町消防本部では財団法人自治総合センターの助成を受け、ビデオセット一式を購入しました。

町内各地区自主防災組織は、年間を通じて「防災訓練」「防火講習会」及び「防火広報」を実施し、「自分たちの町は、自分たちで守る」という堅い信念で行動しています。

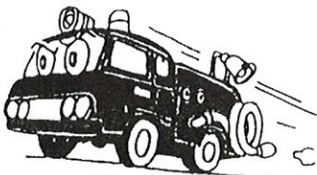
内灘町消防本部では、このビデオセット一式を活用し、「防災訓練」「防火講習会」を積極的に実施して自主防災の充実を図りたいと思います。



（ビデオセット一式）
ビデオカメラ・プリンター・デジタルビデオデッキ・テレビ

緊急時の通報

火事・救急・救助は119番



火災等情報案内 286-1999
消防署一般電話 286-3301

大陸の思い出を抱いて

小中学生友好訪中回帰国報告会

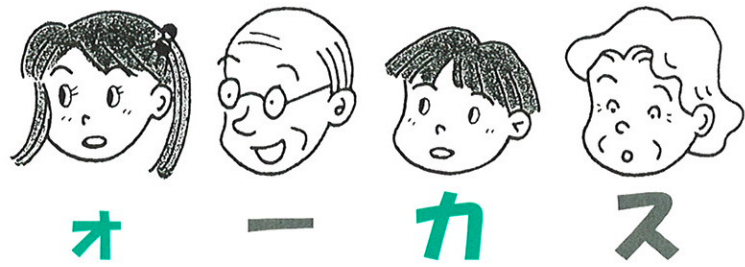
九月十九日から七泊八日の日程で中国を訪問していた小中学生の一行が帰国し、役場で報告会が開かれました。

団長の西尾雄次生涯学習課長は、「訪問先の小学校では、全校生徒がペランダで鈴なりに迎えてくれ、これ以上はないというほど心のこもったもてなしを受けた。また、この日のために用意した演し物を互いに披露しあい、友好を深めた。ホームステイ先ではトランプやゲームをして楽しんだ。

今回の訪問で、子供たちは言葉は通じなくても意志が通じあうという、みごとな交流を見せてくれた。また広大な大陸を移動し、数多くの遺跡も見学し、日本では感じることのできない、暖かさ大きさに触れることができた。」と述べ、今回の交流が内灘町と呉江市の未来の友好に深くつながるであろうと締めくくりました。

また、子供たちは「これからもずっと文通が続けたい。」「中国語を勉強してもう一度行きたい。」「今度はホームステイ先の子供たちに来てもらいたい。」など、この訪問が一度きりのものではなく、将来の交流につながるものになることに期待を込めていました。





オース

さつま芋？かぼちゃ？

千鳥台2丁目に住んでいる、川本沙瑛です。この前おじいちゃんの住む志賀町でおいも掘りをしました。うんしょんしょと力を入れて掘っていたら、あれれ？かぼちゃのような形をしたおいもが出てきたよ。おいもが大好きなんだけど、なんだか食べるのがもったいないから、しばらくは飾ってながめていようっと。う～ん、いつ食べようかな。(川本さんから楽しい話題を提供していただきました。)



日本の給食はオシカタヨ。

アジア・アフリカの留学生が清湖小学校で交流昼食会

JICA：国際協力事業団受入れの国際寄生虫対策ワークショップのメンバーが、10月14日（木）清湖小学校を訪問しました。日本の教育の授業参観や交流会の後、5年生児童と一緒に給食を食べました。日本に来て2週間。器用に箸を使って食事をする留学生に、「ボクよりもじょうず。」という声も。この日の献立は、栗ご飯に卵汁・飛竜頭と野菜の煮付けの純和風献立でしたが、留学生の感想は「トツテモ、オイシイ」というものでした。



月夜の一服

内灘町茶道協会主宰の『月見の茶会』が、中秋の名月前夜の9月23日、福祉センター横の惜亭で開かれました。薄い雲間から、ぽっかり月が現われる、またとない月夜となった当日は、茶道協会会員や親子連れなど60人を超える参加者が、月光の下での風雅なお点前を楽しみました。銀色の光を浴びてのお茶は幽玄の世界を思わせ、格別の味わいのようにでした。



来賓の方より柔らかな体です!!

高齢者スポーツ大会

秋真っ盛りの10月15日（金）、内灘町体育館で高齢者スポーツ大会が開催されました。町内15の老人クラブから約650人の高齢者の方々が参加して行われました。競技に先立って行われた準備体操では、「来賓の方々より選手のみなさんの方が体がやわらかいようです。」という指導員のコメントに、会場は大笑い。参加者は日頃の練習成果をこの時とばかり発揮し、応援団もチームのがんばりに盛んな拍手を送っていました。競技はラケットリレーやボール送りゲームなど、楽しみながら体を動かすもので、始終なごやかな雰囲気の中、今年は昨年引き続き西荒屋チームが2年連続の優勝を果たしました。すこやかな体を保つために、日頃から積極的に運動することはとても大切です。

<成績結果>

- 1位 西荒屋
- 2位 鶴ヶ丘東
- 3位 大根布
- 4位 室
- 5位 宮坂
- 6位 向粟崎・鶴ヶ丘北



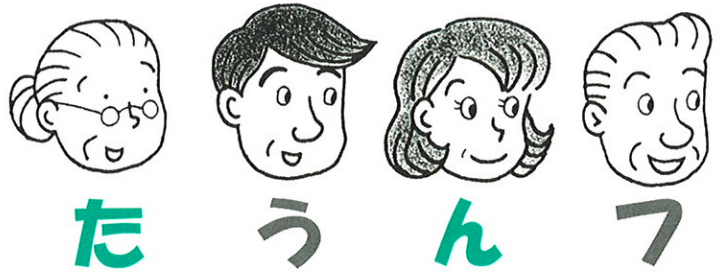
選手宣誓をする
小笠時子さん（西荒屋）

緊急時もこれで安心

町では、一人暮らしで生活に支障のある世帯を対象に、緊急通報装置を設置しています。この装置は、万が一の時にボタンを押すだけで「緊急事態が発生しました」というメッセージが、近くの親戚あるいは民生委員宅に流れ、いずれも不在のときには自動的に消防署に連絡が行くという仕組みです。この日は鶴ヶ丘4丁目にお住まいの太田光子さん宅にNTT職員が訪れ、この装置を取り付けました。太田さんは耳が不自由なため、普段はファックスでやり取りを行っていました。



5月に、腰が痛くて動けなくなり、たいへん不安になったことがあります。これでもしもの時も安心です。



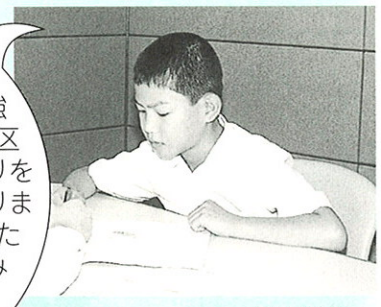
もっと内灘のことを勉強しよう

小学5年生が課外授業

小学校では学科の枠にとらわれず、いろいろな面から自分たちでテーマを見つけ、問題を解決しているという授業があります。

10月に入り、内灘町役場にも、多くの小学生が自分たちで決めたテーマを携え、グループであるいは個人で訪ねて来ました。「内灘砂丘の木について」「日本海のことについて」「省エネルギーについて」……など、児童たちの質問は多岐にわたり、対応にあたる職員も、ユニークな質問の答えに頭を悩ましているようでした。

内灘の祭りの歴史について勉強しに来ました。地区の秋祭りで、棒振りをしたので興味がありました。今日勉強したことは、学校でみんなの前で発表します。



向栗崎小学校5年生 坂本一洋君

さわやかナイン 西荒屋ヤンキース逆転優勝!!

河北郡学童野球ジュニア大会

「河北郡学童野球ジュニア大会(小学4年生以下)」が津幡町条南小学校グラウンドで行なわれ、内灘町の西荒屋ヤンキースが見事優勝を飾りました。

ベスト4に残ったのは西荒屋ヤンキースの他、内灘ファイターズ(内灘町)、向栗崎イーグルス(内灘町)、中条ブルーインパルス(津幡町)の各チームで、3チームまでを内灘町勢が独占しました。

決勝戦は、準決勝で内灘ファイターズを下した西荒屋ヤンキースと、向栗崎イーグルスを下した中条ブルーインパルスとの戦いとなりました。息詰まる投手戦が繰り広げられ、規定の5回を終わって1-1の同点、大会規定によるプレーオフの末、西荒屋ヤンキースが3点差を逆転する劇的なサヨナラ勝ちで見事優勝しました。

小規模校ゆえ、部員数が思うように集まらず、今大会を選手9人で臨んだ三浦正剛監督は、「1人もけがをしたら試合が成り立たない中で、文字どおりナインが一丸となった結果です。これを契機に部員が増えてくれることを願っています。」と中井信一総監督とともに喜びをかみしめていました。



人間コマも出現!?

小学校低学年 田楽座講演観賞

10月5日(火)、内灘町文化会館で小学校1・2年生の児童が、「田楽座」の舞台を観賞しました。町内の小・中学校では春と秋の年2回芸術観賞を実施しています。

「田楽座」の舞台は、日本古来の鉦や太鼓、踊りなどをモチーフに、日本人の心に残る祭りや遊びの風景を表現したものです。途中、児童の一人が飛び入りで舞台上がり人間独楽に扮したり、また清湖小学校の先生と生徒による、1人2役の相撲の演技があったりと、ユーモラスで迫力ある舞台に、低学年の児童もぐいぐい引き込まれ、盛んな拍手を送っていました。



〒920-0292 内灘町役場総務課広報係 内灘町大学1丁目2番地1 電話 286-6720 FAX 286-0617



文化の秋・スポーツの秋 秋はイベントでんご盛り

文化ウィーク

平成十一年十一月七日(日)～十四日(日)

文化協会 創立二十周年記念式典

日時 十一月七日(日)
午後一時～
場所 文化会館大ホール

内灘町総合文化祭

日時 十一月七日(日)
午後二時～
場所 文化会館
○芸能発表(謡曲、邦楽、詩吟、民謡、大正琴、音楽)
○茶会 抹茶席、煎茶席
○競技大会 十一月七日(日)
・将棋大会
会場 内灘中央公民館
・囲碁大会
会場 緑台公民館

・かるた大会
会場 アカシア公民館

○作品展示 十一月七日(日)～十四日(日)

・華道、俳文学、菊花
会場 文化会館

内灘町美術展 内灘町ジュニア美術展

日時 十一月七日(日)～十四日(日)

作品展示

美術展―役場六階ギャラリー
ジュニア美術展―役場町民ホール

オーケストラアンサンブル 金沢コンサート

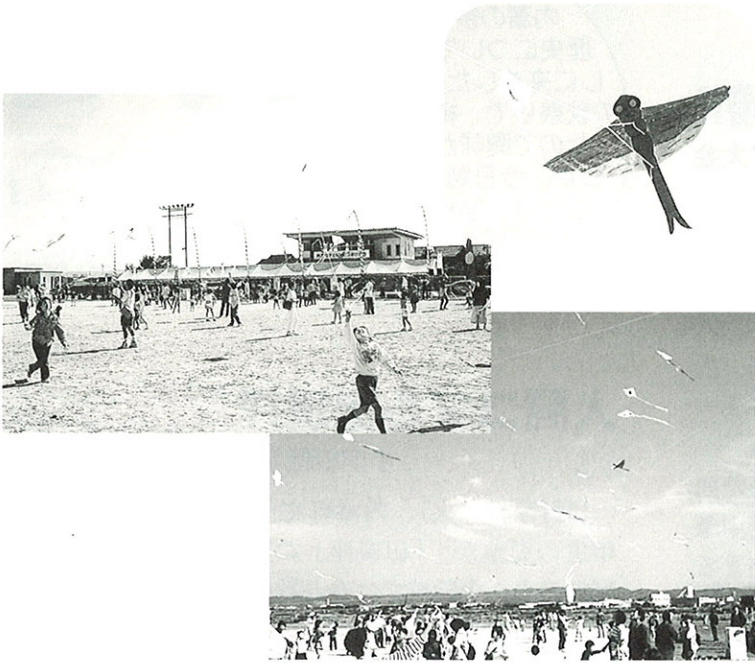
日時 十一月九日(火)
午後六時開場
場所 文化会館

「99内灘町子ども凧遊び大会」

「99内灘町子ども凧遊び大会」が十月十日(祝)、内灘総合グラウンドで盛大に開催されました。

今回の大会には、ミニ凧・トンボ凧の発案者である創作凧名人小関章さん(東京都)を招き、いろいろな凧の紹介をしていただきました。参加園児・児童たちは、それが終わると同時に、いち早く凧を揚げようと、晴れわたる秋空の下、グラウンドを駆けめぐり、自作のミニ凧やトンボ凧を風に乗せて、凧揚げを楽しみました。

また、ミニ凧部門とトンボ凧部門のコンテストが行われました。入賞者は、次の皆さんです。



――トンボ凧部門――

内灘凧名人賞
福島成裕 丸山 理紗
泉 博人 内藤 正枝
内灘凧博士賞
吉村一輝 島田 彩那
知久田将史 永井 惠
鈴木進也 高桑 未希
内灘凧秋空賞
前田昂佑 室崎 文緒
谷上智史 英崎 唯衣
森涼太 勝崎 奈津
島野健二 越村 莉子
井口和 川口 菜摘

――ミニ凧部門――

内灘凧名人賞
品田悠樹 厚見 有沙
大谷宗一朗 北村 美月
内灘凧博士賞
中根匡洋 垣本 さや
熊野奨 垣内 香奈
山田侑輝 桐山 貴衣
内灘凧秋空賞
彦坂魁 人地 美幸
板谷大博 湯谷 頌香
深北賢啓 谷口 真
中尻 北宮 笠原 真美

うちなだ発見スクール



ハイキン
グ気分の内
灘町の自然
と歴史を学
ぼうと、働
く婦人の家
主催の「う
ちなだ発見
スクール」
が、十月六日の自然コース、十
三日の歴史コースに分かれて二
十名が参加して行われました。
西尾雄次生涯学習課長を案内
人に、遊歩道からスタートした

一行は、ハマナス地区西側斜面
黒土層や、歴史民俗資料館など
をまわり、砂丘の植物や内灘の
歴史についてユーモラスな解説
を聞きました。
参加者の中には、鹿児島や香
川から内灘へ越してきた人もお
り、「内灘にこんなところがある
のね。」と新しい発見をしている
ようでした。一方内灘に生まれ
育った参加者は、昔を懐かしみ
ながら案内人の話にうなずき、
ひとときのタイムスリップを楽
しんでいるようでした。

石川県表彰

体育功労者

吉田照男さん(鶴ヶ丘二)

社会体育優良団体

内灘町柔道連盟



柔道連盟の協田 卓也さん

10月15日(金)、平成11年度石川県体育功労者及び社会体育優良団体の表彰式が石川県知事室で行われ、内灘町からは、体育功労者に吉田照男さん(鶴ヶ丘二)、社会体育優良団体に内灘町柔道連盟が表彰されました。

吉田さんは、長年地域の卓球競技の指導・育成に尽力され競技の普及に務められました。

また、内灘町柔道連盟は設立以来長期にわたり、柔道を通して会員の心身を鍛え、健全な社会人を育成してきたことが認められての受賞です。

'99 スポレク祭 — 六種目四百人集う —

平成十一年十月十日(日)午前九時より五会場六種目の内灘町スポーツ・レクレエーション祭が開催されました。
今回は、第七回を迎え、四百余名の選手達が汗を流し熱戦が繰り広げられました。
六種目の成績は次の通りです。

○グラウンドゴルフ

男①大場芳之②生田信良③金谷利幸④北川 弘⑤横谷健司

⑥横田法男⑦村本外喜

女①宮田弥生②橋本浪子③渡辺エミ子④森田豊子⑤安江由美子⑥本 友子⑦大場和子

○ソフトバレーボール

1. フリーの部(混成)

- 1位 内灘愛好会A
- 2位 内灘愛好会B
- 3位 内灘愛好会C・D

2. 女性の部

- 1位 内灘愛好会B
- 2位 アカシア公民館
- 3位 内灘愛好会A



ソフトバレーボール

○ターゲットバードゴルフ

- 1位 小竹 純
- 2位 藤井 明
- 3位 夷藤 千明



ターゲットバードゴルフ

○ペンタク

- 1位 大清水A
- 2位 大清水B
- 3位 向粟崎

○ふれあいバドミントン

1部(初心者男女)

- 1位 竹田 衛・村田由紀子
- 2位 浜野康樹・浜野美香
- 3位 田辺秀範・樫見由美子

2部(親と小学生)

- 1位 上野千緒里・上野正美
- 2位 東野千尋・東野信之
- 3位 長谷川綾・長谷川清志

3部(中学生)

- 1位 由川未奈・山下真貴子
- 2位 畠中裕明・西野大輔
- 3位 竹村有希子・銭丸 舞

3部(小学生A)

- 1位 上野千緒里・香林辰哉
- 2位 桶谷健太・前河里奈

○ラージボール卓球

初心者の部

- 1位 島 みや・中川謙次
- 2位 林光三郎・樹下浩一
- 3位 松岡裕太郎・前田真悟

小学生と親子の部

- 1位 法花堂優子・井上 愛
- 2位 前田真悟・西谷幸枝
- 3位 法花堂歩・法花堂正昭

一般の部

- 1位 法花堂隼・法花堂正昭
- 2位 北橋 諭・高松 薫
- 3位 西谷幸枝・森井街子



ラージボール卓球

1999
内灘
砂丘文学
フェスティバル

日時：1999年11月14日(日) 14:00~16:30
会場：内灘町文化会館

入場協力券が
必要です

前売券：2,000円
 当日券：2,300円

当フェスティバルは、内灘町民をはじめ多くの皆様に、広く内灘及び内灘砂丘に関する文学に親しんでいただくことを目的として開催されます。つきましては、参加ご希望の方には当フェスティバルへのご協力金をいただき、入場券を発行させていただきます。詳しくは実行委員会までお問い合わせください。

この「砂丘文学フェスティバル」は、内灘砂丘にまつわる数多くの文学作品があることから、その文学作品の数々を町民と共に発掘して、小説の舞台となった内灘砂丘の文化的な価値を再発見しようとするものです。

「木崎さと子」さんは、芥川賞作家として活躍中の方で、三島由紀夫の作品にも造詣が深く、三島由紀夫が内灘砂丘を舞台に使った「美しい星」と言う作品の世界もお話していただけるのではないかと思います。

また、「長嶺ヤス子」さんは、情熱的なフラメンコの踊り手として我国を代表するフラメンコダンサーですが、今年はダンスに十分な時間を取りましたので観客の皆様を十分に魅了してくれるものと思います。

今年には、北陸と関わりの深い小説家である「木崎さと子」さんと昨年大好評を博したフラメンコダンサー「長嶺ヤス子」さんをお迎えして、じっくりと楽しみます。

女の情念を踊る本格のフラメンコ

—長嶺ヤス子さんのこと

森井道男

長嶺ヤス子さん（以下敬称略）は、去年も内灘へやって来て、フラメンコと語りで観客を楽しませてくれた。

会津生まれの彼女は三歳の時から踊りを習ったが、一九六〇年代、スペインに留学して著名なフラメンコの教え手パコ・レイエスの生徒となり、やがて外国人（スペインにとつて）初めてのスターダンサーとして活躍し始める。

それは、どこかにジプシの血がまじっているのでは？と師を驚嘆させたくらいのもので、「炎の舞姫」として一躍知られることになった。そして、「裸足のフラメンコ」というスタイルを創りあげたのだが、その後曲折を経て日本へ帰り、このなどの日本の流れ、それから「サロメ」「サンセット大通り」などの西欧の流れ。生と死をつらぬいて踊る彼女は、女の業と情念を体現して、エロスの色濃い火のような舞台を見せてくれる。



秋も深まる十一月十四日、内灘での彼女の本格のフラメンコの迫力が、たつぷり味わえることを楽しみにしたい。

それは、どこかにジプシの血がまじっているのでは？と師を驚嘆させたくらいのもので、「炎の舞姫」として一躍知られることにな

分かれた分野のフラメンコを公演している。

「娘道成寺」「卒塔婆小町」

（日本ペンクラブ会員
金沢医科大学非常勤講師）